

鶴ヶ谷村

鶴ヶ谷氏

鶴ヶ谷団地の造成

住む人の移り変わり

大堤沼

団地入居のころ

ひょうたん沼の鳥と樹木

団地の歩み

村

か

ら

団

地

へ

# 鶴ヶ谷

そして もっと 住みよい まちへ

団地造成前の植物と動物

仙台オープン病院

仙台第三高等学校

鶴ヶ谷についてのアンケート

これからの鶴ヶ谷

町内会今昔

# 鶴ヶ谷団地の誕生



## 鶴ヶ谷新住宅市街地

### 開発事業

●事業用地の取得は昭和39年末から開始して43年度に完了。  
●造成工事は昭和42年に着工し、45年度末には全区域にわたり整地完了。

●造成宅地の分譲は昭和43年より開始し、47年ですべて完売。

●全体の計画は東北最大規模

計画面積 約180ha

計画人口 約2万3千人

人口密度 130人/ha

住宅戸数 約6300戸

総事業費 約63億円

出典「仙台都市計画史」

### 入居開始時の苦勞

●早期のうちは家は建てたものの、電話がなく不便だった。

●市営住宅では、何軒かの家が

電話をひき、みんなで使った。

●1本の回線を2軒で使ったこともある。

●学校は、当初は団地内になく、以前いた地域の学校にバス通学する児童、生徒も多かった。

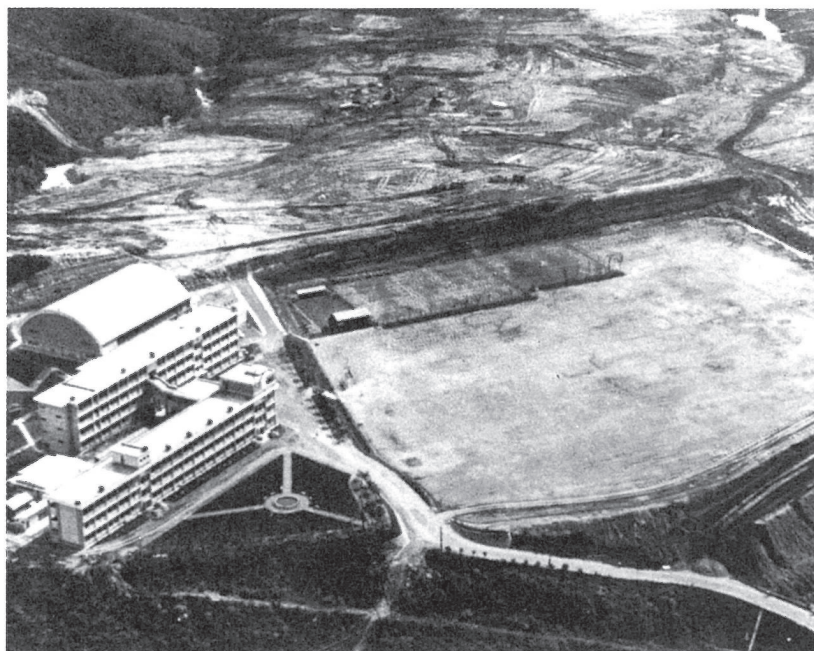
●土地を買ってから2年以内にか家を建てること、という条件があり、経済的にはキツイ思いをした人も多い。

●町内会の会則づくり等は先に出来ていた町内会に手伝ってもらったりして作った。

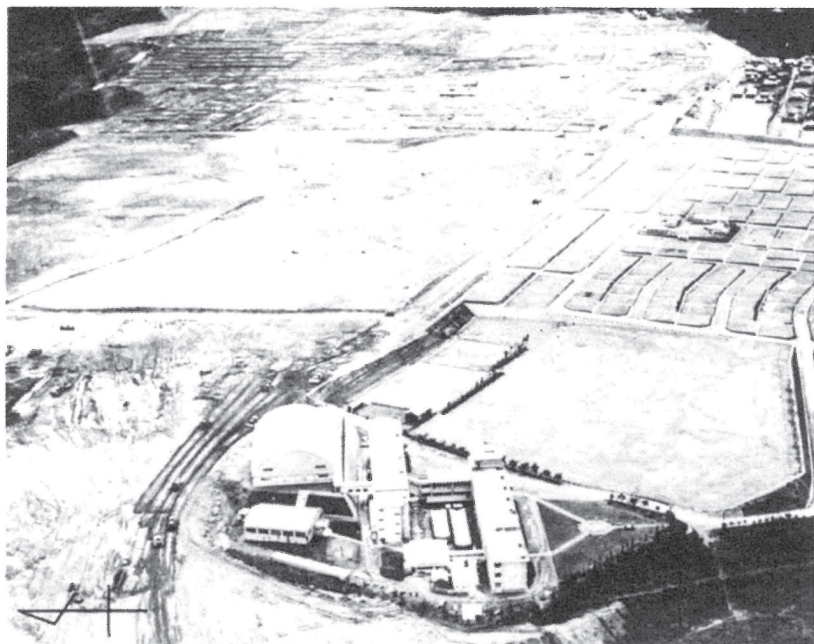
●20年位前、市バスは農業試験場が終点であり鶴ヶ谷は山であった。(造成前)

●造成中宅地は強固な岩盤であり、土を掘ってもごろごろした大きな石が多かった。建築工事も基礎作りが大変だった。

# 写真にみる鶴ヶ谷団地の造成



昭和42年9月 仙台三高の北側（現在の鶴ヶ谷3丁目付近）には、まだ丘陵地が残っている。



昭和43年6月 仙台三高の東側に、少しずつ宅地がつくられていく。